



収穫量大幅減少

昨年2011年産レーズンの収穫量は34万6,132ショートトン(以下S/T)、前期繰越在庫11万206S/Tと合せた総供給量は45万6,338S/Tとなりました。今期への繰越在庫数量は13万2,061S/Tとなり前年と比較し増加している一方、2012年産の収穫量は28万S/Tと減産予想となっています。今後高値により販売量が減少する事を加味した予想では、来期への繰越は10万7,000S/T程度になると考えられます。

収穫年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年※2
前年からの繰入※1	106,896	138,978	83,143	110,206	132,216
集荷量(収穫量)	364,268	298,532	354,878	346,132	280,000
総供給量	471,164	437,510	438,021	456,338	412,216
販売量	332,362	356,144	327,815	324,489	305,000
翌年への繰越※1	138,802	81,366	110,206	131,849	107,216

※1 繰越、繰入については統計上若干の相違があります。 ※2 2012年12月時点での予想。

史上最高値圏に販売量伸びず

カリフォルニアレーズンは先日お伝えしたフィールドプライス\$1,900/S/Tをベースとした製品価格の値上げにより、出荷量が伸びない状況が続いています。レーズン協会(RAC)の船積み資料によりますと、8月から開始されたレーズン新年度の11月末まで4ヶ月間の出荷実績は前年比で輸出(-10%)、アメリカ国内(-3%)、全販売量(-5%)と引き続き大幅な減少となっています。

現時点の現地オファー価格は前期比約7%の値上げとなっており、原料価格(フィールドプライス)が12%値上がりした割には現時点では各社限定的な値上げ提示となっています。パッカー各社がトルコ等他産地との価格差が広がる事での販売数量減を嫌気している事が原因と考えられます。一方、為替については前期と比較して大きく円安ドル高に振れている事から、為替を加味した最終的な販売価格は12~15%程度の値上げは避けられない状況と考えられます。

	2012/8/1-2012/11/30	2012/8/1-2012/11/30	増減
ヨーロッパ合計	16,016	17,950	-11%
ラテンアメリカ合計	2,491	2,937	-15%
アジア他合計	22,116	24,106	-8%
輸出合計(カナダ含まず)	40,623	44,993	-10%
US・カナダ販売量合計	65,112	66,795	-3%
全販売量	105,734	111,788	-5%

(出典: RAC Comparative Commercial Raisin Shipment Data)

最新の状況に関しましては、弊社営業担当者までお問い合わせいただきます様、お願い申し上げます。

